

# 戦時・占領期の紙芝居研究



国際関係学科 **森山 優**

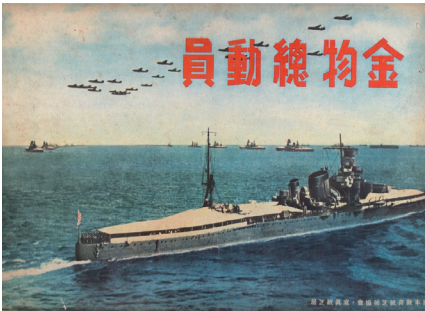
●連絡先 FAX: 054-264-5099 (総務室)  
E-Mail: moriyama@u-shizuoka-ken.ac.jp

## キーワード

日本近現代史, 戦時体制, 占領期, メディア史, 地域史, 紙芝居



本学図書館は、掛川の篤志家、浦上喜平氏が収集・使用した一九四点の紙芝居（浦上史料）を所蔵しています。浦上氏は戦争中、掛川に集団疎開して来た東京の児童たちの世話や慰問活動に奔走し、その一環として紙芝居を上演しました。一個人が実際に使うために集めた史料群としては、国内最大規模です。紙芝居は子ども向けのものに加え、戦時期は政府が大人に向け国の政策をわかりやすく広めようとする内容のものが多く出版されました。浦上史料はそのどちらも含んでいます。本学の紙芝居研究会は、政府が国民に何を伝えようとしたか、人々がそれをどのように受容していったかを、具体的に研究しています。戦時期と占領期は180度異なる社会と思われがちですが、紙芝居というメディアを使って国民を啓蒙しようとする国のスタンスは一貫しています。



『金物総動員』日本教育紙芝居協会、1941（昭和16）年



『農地改革』発行年、発行者不明、戦後

## アピールポイント

過去を学ぶことは、現在を知り、未来をよりよくする手がかりをつかむことです。地域に残された遺産を後世に伝えましょう。